

大國神醫協會ニ對スル對策

- 十 兵衛國醫學會ニ關スル事
- 十一 鐵道醫學會ニ關スル事
- 十二 農林省醫學會ニ關スル事
- 十三 青平醫學會ニ關スル事
- 十四 各支隊軍醫基金設立ニ關スル事
- 十五 赤十字會聯合會並録一ノ事
- 十六 赤十字會聯合會並録二ノ事

財團法人協同會大阪支所

財團法人協同會大阪支所

健康保險法が制定サレテ以來、今日ニ至ル過去二ヶ年餘リ我々勤勞階級ハ悲惨ナ過程ヲ突破シテ來タ、我々無產階級ハコノ不健全極マル健康保險ノ下ニ満足シテ死後ノ問題ヲ安ンジテ附託スル事ハ實ニ危險至極デアアル。

申スマデモナク健康保險法ハ其當時ノ政治家ガ一部資本家ノ御機嫌トリニ案出セル「イカサマ」法デアアルガ爲メニ、我々無產階級ノ立場ヲ無視シタル事ハ不届千萬ト云ハネバナラヌ。

如斯ノ法健ヲ以テ我々ガ第一死活問題トスルヨリ一回ニ對シ一日、○三割迄ヲ自由ニ取り去ル事ノ出來ル様ニ殆ンド我々ハ危地ニ陷入レラレテ居ルノデアアル。健康保險法ヲ制定スル當時、時ノ政府ト日本醫師會トニ於テ報酬契約ノ結バレタ當時ノ患者數ト、今日ノ患者數トニ大イナル差違ヲ生ジテ、醫師會ノ計算ト多大ナ狂ヒヲ來シ、斯様ニ考ヘタ